



カギばりあみベスト袖ナシ

関根

感想

私は80才になり、最後の作品です。目もよくないので
やっとの思いでつくりました。次回の作品展は難しいと思
います。



干支カレンダー

每ちゃん

説明

病気によって体の自由がなくなり、食事から身支度まで他人の手を借りています。口にくわえた筆で絵を描いています。魚や花はいつも目に入っているも龍は見たことがない動物。春のさくらやあさがお、犬、猫は好きな動物です。手に取ることは出来なくても、カレンダーに描かれた絵を見ると心がほっとして気持ちまで温かくなります。だんだんと力がなくなってくることで絵にも力が足りなくなります。力のある限り、カレンダーを作りたいなあ。

感想

ようやく出来上がったのでほっとしました。



十二支 千支 辰

アリス

説明

想像上の動物である龍は十二支の5番目。目はギラギラ、口は大きくヒゲは長くのび、ゆうゆうと空中をかけめぐります。ちょっと怖い動物かな、でも心優しく見える動物です。顔は怖くても見る人によって心に感じる事はいろいろでしょう。今年一年辰に見守られて楽しく元気に生活できたらと龍にあやかって遠くまで行ってみようかな。元気に走ってみましょうか。出来れば飛べる足が欲しいですよ。

感想

怖い物に見える物、細かい所が多く、時間のかかる作品でした。出来上がったときは、優しい心になりました。



タペストリー大手まり

すずめ会

説明

小さなパーツを組み合わせ、台座に動物や花を貼りつける手作業が大変でした。布の合わせなどは手に汗が出ます。動物等3連続けて飾ればほっとします。大きな手まりもパーツが多く色とりどりに、ころころ動いてかわいくなりました。

感想

みんなで手分けして作りました。よくできました。



手ぶくろ人形

エビちゃん

説明

手芸用の手ぶくろを頭、手、足に分けてそれぞれのパーツを縫い合わせました。顔の表情を作るのが大変でした。

感想

思った以上にかわいく出来ました。



しよい籠 クーちゃん

説明

テレビを見て作りたいと思いました。15~17センチの高さの丸いかごです。背負う紐が2本ついています。真ん中がふっくらしています。私は東京育ちなのでイメージがわきませんでした。

感想

背負う紐が難しかったです。



ミニたんす すずめ会

説明

和紙工芸の美しさが伝わるように、いろいろなパーツの組み合わせ作りしました。ボール紙の角はきっちり合わせないと形が崩れます。特に角をしっかりと作ることが美しさのポイントです。糊付けは一気にしないと崩れて貼れなくなり、はみだしてしまいます。引き出しも一個ずつ作り、乾いてから組み合わせました。

感想

角がうまくいかず大変でした。和紙の貼り方で美しさも違ってきます。